

豊岡市教育研修センターだより



豊岡市教育委員会 R7(2025).6.23

No.5

豊岡市のホームページにもアップしています。

豊岡市HP→上段「くらし」→右下「教育・学校」→「教育研修センター」へ

豊岡市小中一貫教育～今年度のポイント～

今年度は、豊岡こうのとりのプラン（第3期）のスタートの年となります。

第一回の豊岡市小中一貫教育推進協議会では、各一貫ブロックの校長先生、小中一貫教育ご担当の先生、そして学校運営協議会委員の代表の方と一緒に、今年度の取組について協議しました。

引き続き、学校、家庭、地域、行政が一丸となって子どもたちの学びを支えていきましょう。

ふるさと教育

◎地域の「ひと、もの、こと」に学ぶ視点を取り入れたやりがいを感じられる教育活動、「自分の地域をどのように創っていくのかという自分たち事意識」を伸ばす。小中のつながりを意識する。

英語教育

豊岡市小中一貫教育推進協議会より

◎授業研修の推進（授業力向上、小学校における効果的な指導、小中連携）。
例（研究指定校区 日高西中学校区 小中連携、竹野学園の英語授業参観）

コミュニケーション教育

◎「めざすコミュニケーション能力の視点と活動例一覧」を指導者がしっかりと意識して活用する。指導者が、コミュニケーション教育は手段であるということを確認する。

学習指導と生活指導

◎小中での相互授業参観等の取組を目的に「授業づくり」や「単元の系統性についての交流」に取り組む。コミュニティ・スクールで、現状や課題を共有し協力体制を構築しながら丁寧に行う。

各一貫ブロックにおける今年度の取組について、協議しました。

【実現に向けた取組】

- ◎地域の事業者の方に来校してもらい、地域の産業、働くことについて知る機会を設ける。
- ◎外部人材バンクを活用する。
- ◎学校運営協議会を母体とした地域の人材を活用するシステムづくりをする。
- ◎地域の方が発行した本を小中で活用する。
- ◎小・中・義務教育学校のサポートルーム、地域コミュニティを活用する。
- ◎ふるさと教育、コミュニケーション教育、英語教育について学校運営協議会の方に参観等してもらう機会を設ける。（保護者にも参観日等で紹介する機会を作ることはできないか。）
- ◎各校の学校運営協議会で、小中一貫教育の取組を知っていただく機会を設ける。ただ紹介に終わるのではなく、課題を提示するとともに「共に何かできないか」という提案をする。（アプスタ、アドバイス集、アンケート内容など）
- ◎睡眠記録については、養護教諭部会で詳細を詰めていき、効果的な実施をめざす。
- ◎授業づくりについては、特に英語授業の相互参観を計画的に取り組んでいく。
- ◎サポートルームの実情の情報交換をもとに、小中共通のルール作り（例：スマホの持ち込みの可否、支援員不在時の体制など）に取り組む。

第5次とよおか教育プランの基本理念のひとつは「豊岡で育む」です。

今後、子どもを取り巻く我々大人一人一人の関わり方がより大切となってきます。本協議会では、「**小中一貫の視点から各一貫ブロックでどのような取組が展開できて、子どもたちの学びを支えることができるか**」について協議しました。「まずやってみる」の姿勢で、手を取り合っていければと思います。